



- 捕獲されたという報告があり、屋内にも注意が必要です。5)
- 2 「ゴキブリ」  
喘息患者さんのうち、特に「ゴキブリ」に感作されている方は、高濃度の「ゴキブリ」への曝露が、症状の増悪に關与すると考えられます。6) また「ゴキブリ」は、一定に温度が保たれた室内では成虫でも越冬するので通年で注意が必要です。7)
- 3 「アスペルギルス」  
アスペルギルスの真菌に感作している喘息患者さんは感作していない喘息患者さんとは異なる特徴を持っています。報告があります。また長期間通院中の喘息患者さんを対象に、10年前と比べて総IgEが上昇している患者群と、不変あるいは低下している患者さん群を比較すると、前者は後者よりも喘息の増悪が多く、経口ステロイドを必要とする回数も多く、  
「アスペルギルス」特異的IgEの陽性率が高いという結果です。8)  
アレルギー性の呼吸器疾患という診断をされた場合に、感作しているか否かを測定しておくべき項目であると言えます。より精度の高い診断を行ううえで、いまはアスペルギルスのコンボパネルであるAsp f 1が保険適用になっています。アスペルギルス属真菌、特にアスペルギルス・フミガーツスの分生子は3μmと小さく、かつ至適発芽温度は37-42℃とヒトの体温と同程度であるため、容易に下気道内に吸引されて発芽、菌糸形成することができるとされています。9)  
Asp f 1は、アスペルギルス・フミガーツスの胞子が発芽してから分泌されるため、Asp f 1への感作は、アスペルギルスが気道内に腐生していることを示唆しています。10)  
ABPAの診断は、注意深い経過観察に従って取得した複数所見の診断基準への適合をもとに進められるため、容易でなくかつ数年以上かかることもあるといわれています。11)  
アスペルギルスに感作した喘息、中でもアスペルギルス特異的IgE抗体価が高くコントロールが難しい症例や粘稠な喀痰の喀出既往があるなど、ABPAが疑われる患者に対してAsp f 1を測定すること、気道内腐生の可能性を確認し、早期に適切な治療を行うことが可能となります。

以上のことから、総IgEおよび特異的IgE感作の変化が喘息の重症度と關連することを示しており、喘息の診断補助の他、治療中も定期的に総IgEや特異的IgEを検査し、モニタリングすることが大切であると考えられます。

- 1) 咳嗽に関するガイドライン第2版
- 2) 竹村昌也他: アレルギーの臨床 35(6):521-525, 2015
- 3) 足立満 他: アレルギー・免疫 13(4):548-55, 2006
- 4) Kino T et al: J Allergy Clin Immunol 79(6):857-866, 1987
- 5) 平尾素一: ペストロジー学会誌 11(1):18-23, 1996
- 6) Rosenstreich DI et al: N Eng J Med 336(19):1356-1363, 1997
- 7) 谷口正実: 吸入性アレルゲンの同定と対策 23-39
- 8) Tanaka et al: Respir Res 15:144, 2014
- 9) 浅野浩一郎. アレルギー 2020; 69(3)164-168
- 10) Sporik PB et al. Clin Exp Allergy 1993; 23: 326-331
- 11) 谷口正実. アレルギー 2021; 70(4)274-281

〔 2 〕 検査項目情報：インフルエンザ(HI)測定株変更について

インフルエンザ(HI)測定株を本年度インフルエンザ製造株に対応した試薬に変更いたしますので、ご案内申し上げます。

\*\*\*\*\*

新	旧
A/ビクトリア /4897/2022 (H1N1)	A/ビクトリア /1/2020 (H1N1)
A/ダーウィン /9/2021 (H3N2)	A/ダーウィン /9/2021 (H3N2)
B/プーケット /3073/2013 (山形系統)	B/プーケット /3073/2013 (山形系統)
B/オーストリア /1359417/2021 (ビクトリア系統)	B/オーストリア /1359417/2021 (ビクトリア系統)

\*\*\*\*\*

〔 3 〕 KMLインフォメーション 9月～11月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行されました「KMLインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用していただければ幸いです。

2023年 9月 8日 検査内容変更のお知らせ  
<https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2023-0908.pdf>

2023年 9月22日 検査容器変更のお知らせ  
<https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2023-0922.pdf>

2023年10月23日 インフルエンザ<HI> 測定株変更のお知らせ  
<https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2023-1021.pdf>

■ □ = = = = =



最後までお読みいただきまして有り難う御座いました。

編集／発行 <https://www.kml-net.co.jp/>  
株式会社 京浜予防医学研究所  
〒216-0042 神奈川県川崎市宮前区南野川 3-22-1

= = = = = □ ■